



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 三洋化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4471 URL <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）原田 正大

問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員 間接部門担当 （氏名）西村 健一 TEL 075-541-4312

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	38,676	20.9	5,129	176.0	6,559	187.0	4,679	△48.0
2026年3月期第1四半期	31,987	△19.3	1,858	△14.9	2,285	△36.0	8,992	274.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 5,363百万円 （△49.1％） 2026年3月期第1四半期 10,537百万円 （146.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	211.53	—
2026年3月期第1四半期	406.51	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	203,638	165,800	79.7	7,340.18
2026年3月期	195,526	162,556	81.4	7,198.31

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 162,372百万円 2026年3月期 159,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	85.00	—	85.00	170.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		100.00	—	25.00	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2026年8月5日）公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 当社は、本日（2026年8月5日）開催の取締役会において、2026年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施することを決議しました。そのため、2027年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金の合計は「—」としております。当該株式分割を考慮しない場合の2027年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は100円00銭、年間配当金の合計は200円00銭となります。当該株式分割の詳細については、本日（2026年8月5日）公表の「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	74,000	16.0	8,000	86.5	9,000	78.9	6,500	△37.6	294.14
通期	150,000	17.3	13,000	29.9	15,000	22.4	11,000	△29.7	125.32

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年8月5日）公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 当社は、本日（2026年8月5日）開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。そのため、2027年3月期連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、本日（2026年8月5日）公表の「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式消却に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期連結業績予想（通期）の1株当たり当期純利益については、株式分割の影響（普通株式1株につき4株の割合）を考慮しております。当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、501円29銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	23,534,752株	2026年3月期	23,534,752株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,413,669株	2026年3月期	1,413,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	22,121,226株	2026年3月期1Q	22,122,111株

（注）取締役等を受益者とする信託が保有する当社の株式は期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 財政状態及び経営成績の状況	2
(2) キャッシュ・フローの状況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等の注記)	12
3. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。一方、中東情勢の緊迫化に伴う原油高を受けた物価上昇圧力への警戒感もあり、予断を許さない状況にあります。

為替相場は、一時為替介入による円高の動きもみられましたが、日米金融政策の動向等を受け、前期末の水準からやや円安で推移しました。また、原油価格は中東情勢を背景に高値圏で推移し、その後下落しました。

世界経済は、米国経済が底堅く推移した一方、欧州景気は根強いインフレを背景とした高金利環境の継続等により減速基調にあり、中国経済も不動産不況等による内需不振が継続しています。加えて、地政学的な緊張の高まりや通商政策を巡る不透明感もあり、先行きは見通しにくい状況が続いております。

化学業界におきましては、中東情勢の悪化による原油価格急騰に加え、ナフサを含む石化製品の供給不安により原材料・燃料価格が大幅に上昇したため、製品価格への適正な転嫁が喫緊の課題となりました。また、海上輸送を含む物流面の不確実性も意識されております。こうした事業環境を踏まえ、当社は2030年度を最終年度とする「中期経営計画2030」を新たに策定し、注力領域を明確化しました。ナフサ等の石化原料への依存度が低く、かつ当社ならではの価値を提供できる領域へのシフトを進め、外部環境変化の影響を受けにくい収益構造への転換を図ってまいります。

このような環境下における当第1四半期連結累計期間の売上高は、原油・ナフサ価格の急騰や一部の原料調達が困難となったことによる原材料価格上昇に対応した製品価格の改定、及び一時的に輸入品の供給が滞ったことによる需要増や、半導体・電子部品関連材料を中心とした高付加価値製品の需要増加などにより386億7千6百万円（前年同期比20.9%増）となりました。利益面では、販売数量の増加による増収効果や、高付加価値製品の旺盛な需要に加え、原材料価格上昇による影響が売上原価へ反映されるまでに一定のタイミング差が生じたこと等により、営業利益は51億2千9百万円（前年同期比176.0%増）、経常利益は65億5千9百万円（前年同期比187.0%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にあった法人税等及び法人税等調整額を含む税金費用（益）の計上がなくなったことなどにより46億7千9百万円（前年同期比48.0%減）となりました。

① 全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	31,987	38,676	6,688	20.9%	127,859
営業利益	1,858	5,129	3,271	176.0%	10,007
経常利益	2,285	6,559	4,274	187.0%	12,256
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	8,992	4,679	△4,313	△48.0%	15,637
1株当たり四半期(当期)純利益	406.51円	211.53円	△194.98円	△48.0%	706.89円
ROA(総資産経常利益率)	5.1%	13.1%		8.0ポイント	6.6%
ROE(自己資本当期純利益率)	9.0%	11.6%		2.6ポイント	10.6%
ROIC(投下資本利益率)	9.2%	9.4%		0.2ポイント	10.6%
為替(\$、元)	\$=¥144.60	\$=¥159.57	¥14.97		\$=¥150.67
	元=¥19.99	元=¥23.45	¥3.46		元=¥21.23
ナフサ価格	66,300円/k1	118,800円/k1	52,500円/k1		65,200円/k1

(注)四半期のROA、ROE及びROICは、年換算しております。

② セグメント別の状況

セグメント別の状況は以下のとおりです。なお、当連結会計年度の期首より、報告セグメントの変更を行っており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コアマテリアル	25,529	1,322	30,847	4,075	5,318	2,752
ウェルネス	3,524	△4	4,234	151	710	155
I C T	2,934	856	3,593	1,112	659	256

＜コアマテリアルセグメント＞

モビリティ分野は、中東情勢の悪化に伴い一時的に輸入品の供給が滞ったことによる需要増に加えて、潤滑油添加剤が堅調に推移したことなどにより、売上高は大幅に増加しました。

インダストリアル分野は、トナー材料の需要増があったことや、永久帯電防止剤が半導体・電子部品関連材料向けの需要増により好調であったことに加えて、炭素繊維用薬剤の在庫調整局面が一服し堅調に推移したことにより、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は308億4千7百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益は40億7千5百万円（前年同期比208.1%増）となりました。

＜ウェルネスセグメント＞

ヘルスケア分野は、外科用止血材の保険償還価格改定により売上高が増加した一方で、医薬品添加剤が需要は堅調であったものの在庫調整の影響を受けて減少したことにより、売上高は横ばいとなりました。

ホーム・パーソナルケア分野は、中東情勢の先行き不透明感を背景にした在庫確保の動きに加え、液体洗濯洗剤用界面活性剤およびポリエチレングリコールの需要が増加し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は42億3千4百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は1億5千1百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

＜I C Tセグメント＞

I C T分野は、半導体市場向けの関連材料の需要が旺盛で売り上げを伸ばしたことに加えて、アルミ電解コンデンサ用電解液が非車載用途の需要増に伴い好調に推移したことなどにより、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は35億9千3百万円（前年同期比22.5%増）、営業利益は11億1千2百万円（前年同期比30.0%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて81億1千2百万円増加し、2,036億3千8百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて32億4千4百万円増加し、1,658億円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から1.7ポイント減少し、79.7%となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高と比較し5億7千2百万円増加（前年同期は11億5千8百万円減少）し、349億5千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、35億8千1百万円（前年同期は29億3千5百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益63億円、仕入債務の増加49億7百万円、減価償却費21億9千9百万円などによる資金の増加が、売上債権の増加69億5百万円、賞与引当金の減少12億1千万円、棚卸資産の増加11億3千9百万円、法人税等の支払額6億4千5百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、10億5千7百万円（前年同期は19億1千4百万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得に11億4千8百万円を支出したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、21億6百万円（前年同期は21億1千4百万円の減少）となりました。これは配当金の支払額18億6千4百万円による資金の減少などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、下記の理由により前回（2026年5月13日）公表値から差異が生じたため、下表のとおり連結業績予想を修正しております。

（業績予想修正の理由）

前回公表時点では中東情勢が不透明であったこともあり利益水準は前年度並みとしておりましたが、当第1四半期は半導体・電子部品関連材料を中心とした高付加価値製品などの需要増や、中東情勢を背景とした一時的な輸入品の供給滞りによる需要増により販売数量が増加したことに加え、原材料価格上昇による影響が売上原価へ反映されるまでに一定のタイミング差が生じたこと等もあり営業利益、経常利益は前年同期を上回る結果となりました。これらの結果を踏まえ、第2四半期（中間期）及び通期の連結業績予想について、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は下表のとおり上方修正しております。

第2四半期（中間期）（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回（5/13）発表予想（A）	74,000	5,000	5,700	4,500	203.42
今回修正予想（B）	74,000	8,000	9,000	6,500	294.14
増減額（B-A）	—	3,000	3,300	2,000	
増減率（%）	—	60.0	57.9	44.4	
前期第2四半期（中間期）実績 （2026年3月期 第2四半期）	63,779	4,290	5,030	10,417	470.92

通期（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回（5/13）発表予想（A）	150,000	10,000	11,500	9,000	406.85
今回修正予想（B）	150,000	13,000	15,000	11,000	125.32
増減額（B-A）	—	3,000	3,500	2,000	
増減率（%）	—	30.0	30.4	22.2	
前期通期実績（2026年3月期）	127,859	10,007	12,256	15,637	706.89

※ 業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、当社は自己株式の取得を行う予定（取得期間：2026年8月6日～2027年2月26日）であることから、1株当たり中間純利益および1株当たり当期純利益につきましては、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。当該自己株式の取得の詳細につきましては、本日別途開示しております「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式消却に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2026年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行う予定であることから、1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮しております。当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、501円29銭となります。当該株式分割の詳細につきましては、本日別途開示しております「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,525	35,098
受取手形及び売掛金	32,545	39,471
電子記録債権	123	154
商品及び製品	11,950	11,958
半製品	5,219	5,151
仕掛品	230	365
原材料及び貯蔵品	4,645	5,728
その他	2,640	2,283
貸倒引当金	△486	△490
流動資産合計	91,395	99,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,513	14,395
機械装置及び運搬具（純額）	18,727	18,318
土地	8,913	8,913
建設仮勘定	463	570
その他（純額）	2,078	1,966
有形固定資産合計	44,696	44,163
無形固定資産		
ソフトウェア	3,991	3,606
その他	1,067	1,069
無形固定資産合計	5,059	4,675
投資その他の資産		
投資有価証券	44,377	45,147
長期貸付金	2,150	2,145
繰延税金資産	606	525
退職給付に係る資産	5,848	5,875
その他	1,412	1,403
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	54,375	55,076
固定資産合計	104,131	103,916
資産合計	195,526	203,638

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,431	20,213
電子記録債務	3,071	3,272
短期借入金	414	413
1年内返済予定の長期借入金	914	912
未払金	4,406	3,863
未払法人税等	609	791
賞与引当金	2,258	1,048
役員賞与引当金	70	15
営業外電子記録債務	474	852
その他	2,110	3,289
流動負債合計	29,762	34,672
固定負債		
長期借入金	1,554	1,550
繰延税金負債	0	0
株式報酬引当金	483	416
退職給付に係る負債	187	188
事業構造改革引当金	466	466
その他	515	541
固定負債合計	3,207	3,164
負債合計	32,970	37,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	13,289	13,289
利益剰余金	111,842	114,628
自己株式	△5,529	△5,530
株主資本合計	132,652	135,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,161	21,390
為替換算調整勘定	2,971	3,156
退職給付に係る調整累計額	2,450	2,388
その他の包括利益累計額合計	26,582	26,934
非支配株主持分	3,320	3,428
純資産合計	162,556	165,800
負債純資産合計	195,526	203,638

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	31,987	38,676
売上原価	24,347	27,432
売上総利益	7,640	11,243
販売費及び一般管理費	5,781	6,113
営業利益	1,858	5,129
営業外収益		
受取利息	36	68
受取配当金	605	675
為替差益	—	181
持分法による投資利益	—	428
その他	80	111
営業外収益合計	723	1,466
営業外費用		
支払利息	28	20
為替差損	139	—
持分法による投資損失	103	—
その他	24	15
営業外費用合計	296	35
経常利益	2,285	6,559
特別損失		
固定資産除却損	256	151
投資有価証券評価損	73	56
事業構造改革費用	—	52
その他	20	—
特別損失合計	350	259
税金等調整前四半期純利益	1,934	6,300
法人税等	△7,262	1,287
四半期純利益	9,197	5,013
非支配株主に帰属する四半期純利益	204	334
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,992	4,679

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	9,197	5,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,069	229
為替換算調整勘定	309	183
退職給付に係る調整額	△39	△61
その他の包括利益合計	1,339	350
四半期包括利益	10,537	5,363
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,329	5,031
非支配株主に係る四半期包括利益	207	332

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,934	6,300
減価償却費	2,301	2,199
固定資産除却損	256	151
賞与引当金の増減額（△は減少）	△816	△1,210
退職給付に係る資産負債の増減額（△は減少）	△77	△115
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△57	△55
株式報酬引当金の増減額（△は減少）	28	△67
受取利息及び受取配当金	△642	△744
支払利息	28	20
持分法による投資損益（△は益）	103	△428
投資有価証券評価損益（△は益）	73	56
売上債権の増減額（△は増加）	△317	△6,905
棚卸資産の増減額（△は増加）	190	△1,139
仕入債務の増減額（△は減少）	523	4,907
事業構造改革費用	—	52
その他	376	418
小計	3,905	3,439
利息及び配当金の受取額	852	821
利息の支払額	△23	△20
法人税等の支払額	△944	△645
事業構造改革に伴う支払額	△854	△13
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,935	3,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,431	△1,148
投資有価証券の取得による支出	—	△25
貸付金の回収による収入	9	156
その他	△492	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,914	△1,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額（△は増加）	△0	△0
配当金の支払額	△1,861	△1,864
非支配株主への配当金の支払額	△225	△225
その他	△28	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,114	△2,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	154
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,158	572
現金及び現金同等物の期首残高	24,010	34,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,852	34,951

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	コアマテリアル	ウェルネス	I C T	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,529	3,524	2,934	31,987	—	31,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,529	3,524	2,934	31,987	—	31,987
セグメント利益又は損失（△）	1,322	△4	856	2,174	△315	1,858

(注1) セグメント利益又は損失（△）の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用315百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費等であります。

(注2) セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日至2026年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	コアマテリアル	ウェルネス	I C T	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,847	4,234	3,593	38,676	—	38,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	30,847	4,234	3,593	38,676	—	38,676
セグメント利益	4,075	151	1,112	5,339	△209	5,129

(注1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用209百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社は、2026年5月13日開催の取締役会において、当社グループのさらなる持続的成長に向けて、「中期経営計画2030」を決議いたしました。これに伴い、注力領域を明確化するため、当連結会計年度の期首より報告セグメントを変更しております。従来「生活・健康産業関連分野」、「石油・輸送機産業関連分野」、「プラスチック・繊維産業関連分野」、「情報・電気電子産業関連分野」および「環境・住設産業関連分野他」としていたセグメント区分を、「コアマテリアル」、「ウェルネス」および「I C T」としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	米国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,224	2,725	3,037	31,987	—	31,987
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,244	11	622	3,879	△3,879	—
計	29,469	2,737	3,659	35,867	△3,879	31,987
営業利益	1,177	345	311	1,835	23	1,858

当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	米国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,080	2,939	4,656	38,676	—	38,676
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,351	—	1,807	6,159	△6,159	—
計	35,431	2,939	6,464	44,835	△6,159	38,676
営業利益	4,466	54	649	5,169	△40	5,129

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	（うち中国）	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	8,217	(3,721)	2,851	903	11,972
II 連結売上高	—	—	—	—	31,987
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合（%）	25.7	(11.6)	8.9	2.8	37.4

当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	（うち中国）	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	10,105	(4,335)	3,092	751	13,950
II 連結売上高	—	—	—	—	38,676
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合（%）	26.1	(11.2)	8.0	1.9	36.1

- （注） 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
 2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
 (1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他
 (2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他
 (3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、中東 他

3. 補足情報

四半期ごとの連結業績推移

前連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2025年4月～6月)	第2四半期 (2025年7月～9月)	第3四半期 (2025年10月～12月)	第4四半期 (2026年1月～3月)	累計 2026年3月期
売上高	31,987	31,791	32,821	31,258	127,859
営業利益	1,858	2,431	3,267	2,449	10,007
経常利益	2,285	2,744	4,362	2,862	12,256
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	8,992	1,424	2,390	2,829	15,637
四半期包括利益又は 包括利益	10,537	4,352	6,406	7,073	28,369

当連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2026年4月～6月)	伸び率 (%)	
		前年同期(1Q)比	前四半期(4Q)比
売上高	38,676	20.9	23.7
営業利益	5,129	176.0	109.4
経常利益	6,559	187.0	129.1
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,679	△48.0	65.4
四半期包括利益又は 包括利益	5,363	△49.1	△24.2